創刊号　2006年3月1日(水)

Contents

♪就任記念定期演奏会 開催のお知らせ
♪シカゴ「ミッドウエスト・バンドクリニック」体験記
♪オオサカンのロゴマーク完成　♪楽員紹介
♪おすすめ新着ＣＤ情報　♪P.スパーク芸術顧問就任
♪活動レポート　♪ニュー・コンサート・ピース2005発売
♪ご支援・ご協力のお願い　♪お知らせ　♪編集後記
♪コンサート・インフォメーション

発行　フィルハーモニック・ウインズ 大阪 編集部
〒553-0003
大阪市福島区福島6-8-10 クリスビル8階
TEL：06-6450-0113　FAX：06-6450-0119
E-mail：info@osakan.jp　URL http://www.osakan.jp

木村吉宏氏 音楽監督就任

記念定期演奏会

来たる4月7日（金）、「木村吉宏氏音楽監督就任記念定期演奏会」を森ノ宮ピロティホールにおいて開催いたします。当楽団は、昨年10月に「フィルハーモニック・ウインズ 大阪（オオサカン）」に改称し、元大阪市音楽団団長で斯界に名高い木村吉宏氏を正式に音楽監督にお迎えいたしました。これを記念するべく定期演奏会を開催する運びとなりました。

演奏会は二部構成になっております。第一部の一曲目は、当楽団名誉芸術顧問のフィリップ・スパーク氏作曲の「素晴らしき3つの冒険」です。この「素晴らしき3つの冒険」は今回の演奏会が、吹奏楽版では世界初演となります。二曲目はデイヴィッド・ギリングハム作曲の「アンダー・ザ・マジカル・ウイング」、三曲目はピーター・グレイアム作曲の「デイ・オブ・ザ・ドラゴン」です。第一部の曲は全て、当広報紙2面の記事に掲載されています昨年12月に行われた「ミッドウエスト・バンドクリニック」で作曲者と交渉し入手いたしました新譜です。

そして第二部は、デレク・ブルジョワ作曲の交響曲第6番「コッツウォルド・シンフォニー」で、これは演奏時間が30分もある吹奏楽の醍醐味が味わえる大曲です。ご期待ください。

今回は、木村吉宏氏の音楽監督就任と、楽団名の改称、そして改称後初めての定期演奏会ということで、当楽団が新たな第一歩を踏み出す記念すべき演奏会となります。この記念すべき演奏会を実現させるために多くの方々のご支援、ご協力がありましたことを、この場を借りて深く御礼申し上げます。そして、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

■日時：2006年4月7日(金)19：00開演(18：30開場)
■会場：森ノ宮ピロティホール
(JR環状線、地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車すぐ)
■一般：2,500円　高校生以下：1,500円
ぴあ：0570-02-9999　Pコード：223-420
※学生券は限定200枚事務所取り扱いのみ　ticket@osakan.jp
■プログラム
・素晴らしき3つの冒険（吹奏楽版世界初演）
／フィリップ・スパーク 作曲
・アンダー・ザ・マジカル・ウイング
／デイヴィッド・ギリングハム 作曲
・デイ・オブ・ザ・ドラゴン
／ピーター・グレイアム 作曲
・交響曲第6番「コッツウォルド・シンフォニー」
／デレク・ブルジョワ 作曲
■主催：フィルハーモニック・ウインズ 大阪
■後援：社団法人 全日本吹奏楽連盟、関西吹奏楽連盟、大阪府教育委員会

活動レポート

私たちの公演の模様やその他の活動をレポートします。

■2005年12月18日(日) X'mas Concert 2005

毎年恒例のクリスマスコンサート2005を12月18日(日)伊丹アイフォニックホールにて開催いたしました。

今年は伊丹市立天王寺川中学校吹奏楽部をゲストにお迎えし、前半はゲストバンドのステージ、後半は私たちのステージによる二部構成のコンサートでした。天王寺川中学校の皆さんはA列車で行こうなど、誰もが耳にした事のあるスタンダードなジャズ曲を中心としたプログラムでした。中学生には難しいjazzyな乗りも、充分に表現されていて、さすが全国に名を轟かせるバンドだなと感心しました。休憩中には12月の昼下がりで好評だったユーフォニアム・テューバのデュエットの演奏でサンタブーツの抽選会が行われました。当選された方おめでとうございます。休憩後は私達の演奏です。クリスマスソング、今年のヒットナンバー、そして笑ってこらえて～吹奏楽の旅～で有名になった本田美奈子さん主演のミュージカル「ミスサイゴン」のメドレーなどを演奏しました。その中でも一番反響が大きかったのは、NHK大河ドラマの義経のメインテーマでした。演奏会の一週間前に最終回が放送されたようですが、テレビで流れる演奏に負けず劣らず迫力のある演奏で、会場の皆様には印象深かったのではないでしょうか。演奏の他にもこの演奏会では2mほどのツリーをお客様と一緒に飾ったり、クリスマスプレゼントをお渡ししたり、開演前にはプレコンサートをしたりと企画も盛り沢山でした。団員一同たくさんのお客様とふれあう事が出来てとても楽しかったです。

来年もまた、お客様に最高のクリスマスをお過ごしいただけるように工夫を凝らしてコンサートを開催したいと思いますので、是非聴きに来てくださいね。最後になりましたが、天王寺川中学校の皆様をはじめ、今回の演奏会を開催するにあたりご協力くださった皆様、聴きに来て下さった皆様、本当にありがとうございました。

ゲストの天王寺川中学校吹奏楽部

会場の皆様と大合唱

《ご支援・ご協力のお願い》

この度、フィルハーモニック・ウインズ 大阪は、日本初のNPO法人のプロフェッショナル吹奏楽団となるべく大阪府に申請をいたしました。元大阪市音楽団団長で斯界に名高い木村吉宏氏を音楽監督に迎え、また、イギリスの作曲家であるフィリップ・スパーク氏も名誉芸術顧問に就任していただき、本格的にプロフェッショナルの吹奏楽団として、質の高い活動を展開していく所存でございます。つきましては、次年度より賛助会員を募集いたします。

このご支援・ご協力は、主催公演の充実をはじめ、意欲あふれる特別演奏会の実現、吹奏楽レパートリーの拡大などの演奏活動の発展、将来を見据えた児童生徒の育成、施設でのボランティア演奏による音楽文化向上のため当団経営基盤として大きな柱となります。

活動の趣旨にご賛同頂けますなら幸いに存じ、ぜひご入会をお願い申し上げます。

〈個人会員〉　年間：２０，０００円／一口
【特典】年二回の定期演奏会にご招待（一口につき一枚、招待状を送付いたします）、定期演奏会プログラムにお名前を記載、主催公演（一部除く）チケットの割引購入、当楽団ＣＤを特別価格（約２０％引き）で販売、広報紙Winds.netの送付（年四回発行）

〈法人会員〉　年間：１００，０００円／一口
【特典】年二回の定期演奏会にご招待（一口につき一枚、招待状を送付いたします）、定期演奏会プログラムに貴社名を記載、主催公演（一部除く）チケットの割引購入、当楽団ＣＤを特別価格（約２０％引き）で販売、広報紙Winds.netの送付（年四回発行）

〈オオサカン・フレンズ（ファンクラブ）〉　年間：３，０００円
【特典】入会時にオリジナル・ステッカーをプレゼント、主催公演（一部除く）チケットの割引購入、当楽団ＣＤを特別価格（約１０％引き）で販売、広報紙Winds.netの送付（年四回発行）

郵便振替口座　００９９０－９－２７９４０８　加入者名：フィルハーモニック・ウインズ 大阪
※通信欄に種別（法人・個人・フレンズ）と口数を必ずご記入ください。

New Release!!　2005 12.07 on sale

NewConcertPieces2005
Alfred Reed - Rosalind in the Forest of Arden
指揮：木村吉宏（音楽監督）
演奏：フィルハーモニック・ウインズ 大阪
録音：2005年9月29日・30日
豊能町立ユーベルホール
定価：2,900円（税込）
★ ★ ★ 収録曲 ★ ★ ★
■ タワー・ミュージック（ジャン＝フランソワ・ミシェル）
■ アーデンの森のロザリンド（アルフレッド・リード）
■ クラブ・ヨーロッパ（マーティン・エレビー）
■ 桜華幻想（福島弘和）
■ 祝典序曲「未来の扉」（福島弘和）
■ 魂が高揚するとき（フィリップ・スパーク）
■ 組曲「ＣＡＲ」（マルセル・ペーテルス）
■ こだまは鳴りやまぬ（デヴィッド・ギリングハム）
■ サンダーバードは飛ぶ（リチャード・Ｌ・サウセード）
(有)ミュージックストア・ジェイ・ピー　http://www.musicstore.jp
TEL:042-983-1940　FAX:042-983-1941　MAIL:info@musicstore.jp

お知らせ

・この度、２００６年１月１日よりイギリスの作曲家フィリップ・スパーク氏が当楽団の名誉芸術顧問に就任いたしました。
・この度、２００６年１月１日よりアドミニストレーション・アドヴァイザーの眞砂浩和がゼネラル・マネージャーに就任いたしました。
・この度、２００６年１月１日よりマーネージメントの松尾共哲がチーフ・マネージャーに就任いたしました。
・この度、２００６年１月１日より公式ホームページを開設いたしました。
http://www.osakan.jp

編集後記

遂に楽団の広報紙「Winds.net」を創刊しました。この創刊を皮切りに年四回の発行を考えております。

現在、当楽団は日本最初のＮＰＯ法人プロフェッショナル吹奏楽団となるべく申請をいたしました。これから様々な問題が待ち構えていると思いますが、楽員一同力を合わせて皆様に最高の音楽を届けていけるよう努力する所存でございます。この広報紙を通して皆様に、我々の活動を理解していただき、益々のご声援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

編集部

Concert Information ♪♪♪♪♪　♪♪♪♪♪

■昼下がりの音楽会　入場料／500円（5月のみ1,000円）全席自由
時間／14：30開場、15：00開演、16：00終演

Vol.13　「トランペットの煌めき」トランペット・アンサンブル
2006年4月8日(土)　ピッコロシアター(中ホール)
Vol.14　「吹奏楽で贈るディズニーの世界」吹奏楽
2006年5月7日(日)　ピッコロシアター(大ホール)
Vol.15　「未定」木管八重奏
2006年6月17日(土)　ピッコロシアター(中ホール)
Vol.16　「未定」金管五重奏
2006年7月22日(土)　ピッコロシアター(中ホール)
Vol.17　「未定」管打八重奏
2006年8月26日(土)　ピッコロシアター(中ホール)
Vol.18　「未定」パーカッション・アンサンブル
2006年9月23日(土祝)　ピッコロシアター(中ホール)

［ピッコロシアター交通アクセス］
ＪＲ「塚口」駅下車徒歩約５分、阪急神戸線「塚口」駅下車徒歩約８分

Chicago

「ミッドウエスト・バンドクリニック」体験記

毎年シカゴで開催されている「ミッドウエスト・バンドクリニック」に参加してまいりました。ニュー・コンサート・ピース2005を沢山の作曲家にお渡しし、当楽団の事を知っていただくきっかけとなりました。

昨年の12月12日から16日に渡って、アメリカのシカゴへ行ってきました。旅の目的は、毎年シカゴで開催されている「ミッドウエスト・バンドクリニック」に参加し、そこで吹奏楽界で活躍している各国の作曲者と会い、彼らの素晴らしい作品を提供してもらうためです。そして一番大切なミッションとして、作曲家のフィリップ・スパーク氏に会い、今春に行われる、木村吉宏氏音楽監督就任記念定期演奏会のオープニング曲の作曲を依頼する、という目的がありました。海外は生まれて初めてというメンバーもいる中、プレイヤー3名、当楽団ゼネラルマネージャー、そしてとても頼れる通訳さん。この5名で旅は始まったのです。

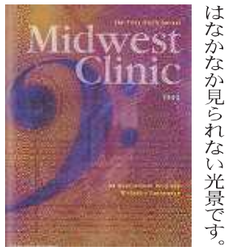
12月12日 曇り

出発の日、シカゴは極寒の地で、12月は最高気温1℃にしかならないという情報に、これは万全な防寒対策をしなければ！と厚手のコートやカイロを荷物に詰め込み、関西空港を出発しました。不安と期待を胸に日本とはしばしのお別れ。そして13時間後、一面雪の積もるシカゴに到着。風は無いが、さすがに寒い。その夜はオペラ鑑賞に行きました。会場のリリックオペラは由緒あるオペラハウスであり、この日はモーツァルトの「魔笛」が演目でした。歌い手はすばらしく、情熱的な演技を交えて本格的な歌声を披露してくれました。明日はいよいよスパーク氏に会う日です。

シカゴの街並み

12月13日 曇り

今日はミッドウエスト・バンドクリニックが行われる会場へ行き、そこでスパーク氏と会う予定です。そこには音楽業界（特に吹奏楽界）の関係者が世界中から集まっていました。会場を歩いていると著名な作曲家や指揮者にちょくちょく出くわします。このクリニックはいわゆる吹奏楽の祭典で、学生からプロを対象にし、楽譜出版社・作曲家・楽器メーカー・アメリカのアーミーバンド等が集まり個々がブースを開いて色々な紹介をします。ブースは明日からなので、今日はスパーク氏と会い、木村先生からの依頼状を渡さなければなりません。「はじめまして、オオサカから来ましたフィルハーモニック・ウインズ 大阪のものです。」私たちはもちろんですが、何度か会ったことがある眞砂氏も、緊張した面持ちでした。私たちの意思を伝え作曲を依頼しましたが、彼はとても忙しく、返事は予定をみて後日します、とのことでした。そしてこちらの緊張をほぐすような気さくな笑顔で話をしてくださいました。翌日出版社ブースでまた会いましょうと約束して会場を後にしました。その夜は、再び嬉しい音楽鑑賞を体験できました。シカゴといえばシカゴ交響楽団、ですが本当に聴けるとは思っていませんでした。ホールはファンで満席です。曲目はヴォーン・ウィリアムのロンドン交響曲、ガーシュインのラプソディ・インブルー、バーンスタインのウェストサイドストーリーよりシンフォニックダンス。以上の3曲で、指揮はロバート・スパーノでした。今まで聴いた演奏と比べると観客を引き付ける力の差は歴然としていました。ホール全体を優しく包み込む弦の音、まっすぐに響き渡る金管楽器、どのセクションも確立された演奏で改めてシカゴが誇る音楽に感動しました。演奏が終わると、観客はスタンディングオーベーション。感情のままに気持ちを表現するのは観客も一緒。日本ではなかなか見られない光景です。



ミッドウエスト・クリニック冊子

12月14日 晴れ

今日も朝食を済ませ、すぐにバンドクリニックの会場へ。まず楽譜の出版社ブースで演奏会の為の楽曲を探します。各ブースには今活躍中の作曲家がいて、お勧めの曲や新しい情報などを直接聞くことができます。私たちはあらかじめ決めておいた出版社から順に回り、CDをプレゼントし楽団のアピールをしました。「大阪で活動する、若いプレイヤーで構成された新しい吹奏楽団です。」この紹介に、「あぁ、オオサカね！」と皆良いリアクションをしてくれました。そして新曲や未発表の作品があるかを尋ね、試聴させていただいたり、楽譜を見せていただいたりしました。それをメンバーで吟味し、意見一致したものを購入しました。楽器ブースにも足をのばしました。そこでは展示品を試奏して楽器を買うこともできます。こんなに多くの世界の楽器メーカーが一度に集まった光景は滅多に見られません。そんな中、日本の大手メーカーを発見。一方、全然知らないメーカーもありました。それぞれ他社とは違うアピールポイントを持っていて、とても興味を惹かれました。そして後半戦、再び楽曲探しに戻り、良い作品を手に入れることに専念しました。気付くともう夕方の6時でした。一日中、広い会場を歩きまわり、さすがに皆体力に限界を感じました。それと共に、一日で幾つもの出会いがあり、たくさんの収穫を得て、旅の目的を無事に果たした達成感も大きかったです。翌朝、少し見慣れたシカゴに別れを告げ、帰国の路につきました。

ＮＣＰ2005のＣＤを渡しマーチン・エレビー氏と

名誉芸術顧問のフィリップ・スパーク氏と

クラリネット　木下　香苗

Philharmonic Winds OSAKAN
オオサカンのロゴマーク

フィルハーモニック・ウインズ 大阪
ステッカー（白）

Philharmonic Winds OSAKAN
ステッカー（黒）

オオサカンのロゴマーク完成

この度、フィルハーモニック・ウインズ 大阪のロゴマークが完成致しました。作成当初は、どういったものにしたらいいのか分からず、全く白紙からのスタートでした。しかし皆で話し合いを重ね、案を出し合った結果、①大阪府を形取ったもの。②その大阪府の回りに団名を半円形に入れ、音楽記号のフェルマータに見立てる。③大阪府の地図の福島区の位置に、大阪府の府花・さくらそうのモチーフを入れる当団事務局の所在地が大阪市福島区であるため。といった、様々な案が出されました。これを元に、いつも印刷をお願いしている、株式会社プリンティング園田様にデザインをお願いし、何度も訂正を重ね、紆余曲折を経て完成したロゴマークがページ左上のものになります。大阪府の地図はわかりやすい様にロゴ化し、福島区にはさくらそうの代わりにアクセントに赤色を入れていただきました。

また、「団名を半円形に入れ、音楽記号のフェルマータに見立てる」という願いもきっちり叶えて下さいました。このフェルマータには、末永く皆様に愛され、いつまでも存続する楽団になる様にという、私たちの願いが込められています。ロゴマーク完成に伴い当団のオリジナル・ステッカーも作成いたしました。こちらもプリンティング園田様にデザインをお願いしました。このステッカーは、オオサカン・フレンズに入会してくださった方にプレゼントいたします。また、演奏会の会場でも販売する予定となっておりますので、是非お買い求めください。

今回、プリンティング園田様には私たちの要望に根気強くお付き合いいただき、本当に感謝しております。そしてこれから、このロゴマークが入ったチラシを見掛けましたら、目をとめていただけたらと思います。

フィリップ・スパーク氏

フィルハーモニック・ウインズ 大阪 名誉芸術顧問に就任

この度、日本でも人気の高いイギリスの作曲家フィリップ・スパーク氏が当楽団の名誉芸術顧問に就任してくださいました。就任にあたりスパーク氏よりメッセージをいただきましたのでご紹介させていただきます。

大阪に“フィルハーモニック・ウインズ・オオサカン”という新しいプロフェッショナルの吹奏楽団が誕生するというニュースを聞き、私は大変わくわくしております。そして、私がこの楽団の名誉芸術顧問に就任させて頂けた事を大変光栄に思っております。

演奏会当日は、イギリスですでに別の演奏会があり、出席することができないのは非常に残念に思っております。もちろん、この記念すべき演奏会が成功することを心から祈念いたしております。

そして、今回が吹奏楽版世界初演となる私の作品「素晴らしき3つの冒険」が聴衆の方々のみならず、この楽団の指揮にも楽しんで頂けることを期待しております。

幸運を祈っております！

楽員紹介

小山 陽子
KOYAMA, Yoko

1．パート：クラリネット
2．使用楽器：クランポン トスカ
3．使用マウスピース：バンドレンB40
4．星座：水瓶座
5．血液型：Ａ型
6．趣味：水族館巡り・読書
7．一番好きな吹奏楽の曲
（交響詩「モンタニャールの詩」）
8．いつから始めたか、またそのきっかけは？
（中学一年生の時、吹奏楽部に入って。）
9．一言
（まだ生まれたての楽団ですが、大阪らしく若々しく演奏できればと思います。応援よろしくお願いします！）

おすすめ 新着ＣＤ情報

このコーナーでは吹奏楽ＣＤの中からオススメのＣＤを紹介していきます。今回は国内レーベルからブレーン・カフア・ベルミュージックの新譜を三点紹介します。コンクールも近いことですし、自由曲の選曲の参考にしていただければと思います。

■タイトル：四季連トウ ～長生淳作品集～

ヤマハ吹奏楽団は毎年新曲を委嘱し続けており、今回のアルバムは現在最も注目される作曲家・長生淳氏へ2000年から2003年にかけ委嘱し、創造された四部作をレコーディングしたものです。指揮者には海外で活躍する新進気鋭の堺武弥氏を迎え、完成度の高いアルバムとなっています。四季を題材にしたもので、叙情性溢れる素晴らしい作品ばかりで、近年コンクールでもしばしば演奏されています。楽譜は全てブレーン株式会社よりレンタル譜として出ています。

演奏：ヤマハ吹奏楽団
指揮：堺 武弥
品番：OSBR22011

■タイトル：ダンシング・ウインズ

ノーステキサス大学音楽科教授として吹奏楽指揮の分野で全米一の名声を誇るユージーン・コーポロン氏。昭和音楽大学は、2000年より毎年コーポロン氏を指揮者に迎え、積極的に新作へ取り組んでいます。このCDは2005年に開催された定期演奏会のライブ版で、日本初演5曲と非常に注目度の高い演奏会でした。ジャンルを越えた吹奏楽の無限の可能性を感じることのできるアルバムです。

演奏：昭和ウインド・シンフォニー
指揮：ユージーン・Ｍ・コーポロン
品番：CACG0078

■タイトル：ニュー・コンサート・ピース2005

最後に紹介するのは、昨年12月にリリースされた当楽団のCDです。ミッドウエストで収録した作曲者にCDをお渡しし、各作曲家から大変好評をいただきました。演奏会向けの曲から、コンクールでも使える曲まで多種多様な曲を収録してあります。まだお聴きになっていない方は是非一度お聴き下さい。CDに収録した曲の楽譜は全てミュージックストア・ジェイ・ピーで取り扱っています。

演奏：フィルハーモニック・
ウインズ 大阪
指揮：木村 吉宏
品番：BELL0501